

令和元年度相模原市協働事業提案制度 公開中間ヒアリング

日時 令和元年 10月26日(土) 午前10時～正午

会場 緑区合同庁舎 4階 集団指導室

時間	区分	内容	事業概要	団体名	事業担当課	採択年度
10:00	公開中間ヒアリング開会(挨拶、審査会委員紹介、進行説明)					
10:05	市民	津久井里山体験ツアー運営による地域活性化事業	○現在、藤野地区で行っている里山体験ツアーを津久井地域の観光資源を活用し、津久井全域に広げることで、津久井地域の活性化及び観光を通じたさまざまな交流促進を図る。	一般社団法人 藤野観光協会	緑区役所区政策課	29
10:25	行政	高尾山からの相模湖・藤野方面へのハイカー誘客促進事業	○高尾山、石老山からの相模湖、藤野方面へのハイカー誘客のため、ローマ字標記を併記した地域材を利用した道標の整備、ハイキングガイドの養成、ハイキングイベントを開催する。	相模湖商工会	商業観光課	29
10:45	市民	市民講座による生涯学習の推進事業	○新たな生涯学習の仕組みづくりの構築に向け、市民による市民のための市民講座の長期講座を行うとともに、長期講座修了者のサークル化を推進し、生涯にわたって学び続けることができる体制を整える。	市民講座 まなびのライブ塾	生涯学習センター	29
11:05	休憩(10分)					
11:15	市民	若年層に向けた金融教育支援事業 (高校生にも分かる契約、金融と奨学金の話)	○成年となることで契約に係る権利と責任が大きく変化することを踏まえ、高校生やその保護者に対して、金融教育や法的に大人になることについての講義、高校生が経済的理由で進学をあきらめないための奨学金等支援制度の適正な活用方法の説明や個別相談を行うことで、消費者被害の未然防止や将来の健全な市民の育成をしていく事業	神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合	消費生活総合センター こども・若者支援課	30
11:35	市民	食でつながる子育て相談事業	○子育てに悩みをもつ保護者が一人で悩まないための居場所づくりをする。相模原の生産物などに触れる機会を含めた、独自の食の教育プログラムの作成と、居場所でのデータを集計・分析し全国の子育て支援に繋げる事業	NPO法人 フーズマイルぐら	こども家庭課 各子育て支援センター	30
11:55	公開中間ヒアリング閉会(挨拶)					
12:00	終了					

13時から今年度応募のあった事業の公開プレゼンテーションを行います。
お時間のある方は是非ご参加ください。

中間ヒアリング調書について

公開中間ヒアリングに臨むにあたり、評価項目が18ある中間ヒアリング調書(1~2ページに掲載)を実施団体と事業担当課がそれぞれ事前に作成しています。

それぞれが行ったa~dの評価を点数化し、各事業における実施団体と事業担当課の意識差を3ページに掲載しています。

こうして、意識に差がある部分は何かを明らかにすることにより、今後のより良い事業実施につなげていくことも、このヒアリングの目的としています。

また、事業の概要について記載してあるページ(実施団体作成分)を4ページ以降に掲載していますので、ヒアリングを聞く際の参考としてください。

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調査書

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	今年度が	年日
事業の名称			
団体の名称			
事業担当課			
事業の概要	記入する年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。		
事業の目的	今年度実施予定の事業内容は何ですか。		
令和元年度事業実施計画概要	この半年間で実施したことは何ですか。		
令和元年度の取組状況	際の半年間で実施する予定のことは何ですか。 9月末現在の事業達成度・・・()%程度 成果をばかす指標 () 例) 事業開始回数、参加者数、実施回会、満足度調査等		
事業予算額	千円	(市負担割合 %)	
うち市負担金額	千円		
令和2年度の事業継続を	<input type="checkbox"/> 希望します <input type="checkbox"/> 希望しません 千円 (当初提案時の金額) 千円 (当初提案時の金額)		
令和2年度事業予算額	千円		
令和2年度市負担希望額	千円		

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	事業の名称	
次のA～Fの21項目について、ご記入ください。			
A: 取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば肯定、d=否定(いいえ))			
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いませんか。(共通認識)	はい	はい
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持てていますか。(意思疎通：情報交換・進捗管理・危機管理・予算管理)	a b c d	a b c d
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いませんか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a b c d	a b c d
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いませんか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a b c d	a b c d
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いませんか。(想定外のことはないか；計画の妥当性)	a b c d	a b c d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)		
B: 事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば肯定、d=否定(いいえ))			
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いませんか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	はい	はい
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いませんか。(主体性・特性の発揮)	a b c d	a b c d
8	実際に事業に着手してみても、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いませんか。(予算の適切さ)	a b c d	a b c d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)		
C: 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば肯定、d=否定(いいえ))			
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いませんか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	はい	はい
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いませんか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a b c d	a b c d
11	協働したことから、想定する成果(効果)を上げることができていると思いませんか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a b c d	a b c d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)		

D: 協働の関係性 (a=肯定 (はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定 (いいえ))		はい	いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと感じますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと感じますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと感じますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと感じますか。 (以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/>
自由意見			
E: 自己評価 (a=肯定 (はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定 (いいえ))		はい	いいえ
事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。		a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/>
16			
協働の必要性：協働しなければ的効な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。		a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/>
17			
役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経営負担も含む)		a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/>
18			

F: その他 (以下は必要に応じてお書きください。)	
19	事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。
20	実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。
21	事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと(つなげたいこと)があればお書きください。
22	次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。
その他	

5事業の自己評価数値および意識差

自己評価数値について

- a = 4 肯定する(はい)(おおいに思う)
 b = 3 どちらかと言えば肯定する(どちらかと言えば思う)
 c = 2 どちらかと言えば否定する(どちらかと言えば思わない)
 d = 1 否定する(いいえ)(思わない)

NO.1 津久井里山体験ツアー運営による地域活性化事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	72
行政	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	72
差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NO.2 高尾山からの相模湖・藤野方面へのハイカー誘客促進事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	3	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	70
行政	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	71
差	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

NO.3 市民講座による生涯学習の推進事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	71
行政	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	71
差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NO.4 若年層に向けた金融教育支援事業(高校生にも分かる契約、金融と奨学金の話)

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	71
行政	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	72
差	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

NO.5 食でつながる子育て相談事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	3	3	3	2	2	4	2	2	2	3	2	3	3	2	2	3	3	2	46
行政	3	3	2	3	2	3	2	2	3	2	2	3	3	2	2	2	2	2	43
差	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	3

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	29年度採択	今年度が 2 年目
事業の名称	津久井里山体験ツアー運営による地域活性化事業			
団体の名称	一般社団法人 藤野観光協会			
事業担当課	緑区役所区政策課			
事業の概要	現在、藤野地区で行っている里山体験ツアーを津久井地域の観光資源を活用し、津久井全域に広げることで、津久井地域の活性化及び観光を通じたさまざまな交流促進を図る。			
事業の目的	<p>最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>体験型・交流型観光としての藤野里山体験ツアーをより充実させるとともに、津久井地域全体に里山体験ツアーを広く展開し、交流人口の増加を図り、地域住民に新たな働きがい、生きがい、さらに一定の経済効果をもたらすことなどを通じて、津久井地域の活性化に寄与する。あわせて、ツアーを通じて津久井地域市民と旧市市民・首都圏居住者・外国人などとの交流を促進する。</p>			
令和元年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 藤野里山体験ツアーの磨き上げ 2 教育旅行、企業の福利厚生事業、インバウンド等としてのツアー企画の検討、実施 3 HPの改善、チラシリニューアル等によるツアー周知の徹底 4 津久井地域里山体験ツアー運営協議会専用HPの内容検討及び開設 5 津久井地域関連団体との連携強化 			
令和元年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 随時 里山体験ツアー春・夏メニュー開発、受入れ家庭の募集 2 7～9月 横浜国立大学付属小学校児童、ソフトバンク社員、中国観光客、県職員の受入れ 9月 外国人観光客向けモニターツアーの実施 3 随時 藤野里山体験ツアーHPのメンテナンス、リニューアル、5月 チラシの改訂、印刷 4 5～9月 津久井里山体験ツアー運営協議会HPの検討、作成、公開 5 4月 第2回津久井里山体験ツアー運営協議会開催 <p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 随時 里山体験ツアー秋・冬メニュー開発、受入れ家庭の募集 2 随時 ソフトバンク社員、県職員、インバウンド客のツアー受入れ 10月 マレーシア訪日教育旅行視察受入れ、日台教育旅行セミナー参加、商業観光課主催外国人モニターツアー参加、12月 県国際観光課主催外国人出前セミナー受入れ 3 随時 HPのメンテナンス、リニューアル、10月 「ユニコムプラザ」まちづくりフェスタ出展 4 10月 津久井里山体験ツアー運営協議会HPの公開 5 10月 第3回津久井里山体験ツアー運営協議会開催 11月・2月 津久井地域でのモニターツアー開催 <p>9月末現在での事業達成度・・・(80)%程度</p> <p>成果をはかる指標(事業開催回数、参加者数、受入れ家庭数、満足度調査)</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ツアー実施回数 42回 ○ツアー参加者 422人 ○受入れ家庭数 1家庭、1団体増加 ○満足度調査 3回実施 			
事業予算額	2,099 千円			
うち市負担金額	1,733 千円 (市負担割合 83 %)			

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	行政提案型	29年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	高尾山からの相模湖・藤野方面へのハイカー誘客促進事業					
団体の名称	相模湖商工会					
事業担当課	商業観光課					
事業の概要	高尾山、石老山からの相模湖、藤野方面へのハイカー誘客のため、ローマ字標記を併記した地域材を利用した道標の整備、ハイキングガイドの養成、ハイキングイベントを開催する。					
事業の目的	<p>最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて、相模湖・藤野地域においても訪日外国人観光客の増加傾向がみられる。この地域への来訪目的は自然風景や遊園地を目的に来訪する割合が多いとともに、サイクリングやハイキングといった自然を楽しむことを目的とした来訪も増加傾向にあるものの、少子高齢化により日本人観光客のみの誘客では、ある程度の限界がある。そこで、長期的に相模湖・藤野地域の観光客の誘客を視野に入れた場合、日本人観光客だけを対象とはせず、外国人観光客の受け入れ態勢を段階的に整備することにより、地域の活性化が図られる。</p>					
令和元年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>平成30年度事業に引き続き、訪日外国人観光客に配慮した案内板、道標整備事業に着手する。本年度は相模湖に次ぐ本地域のシンボルと認識される石老山に着目し、石老山ハイキングコース入り口までの間のアプローチを分かりやすく案内することを目的とする。さらに、石老山をより一層観光客に認知されるよう、魅力的なハイキングイベントを企画し、本イベントに参加した観光客に、再度相模湖を訪れていただくよう、ハイキングイベントを実施する。</p>					
令和元年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>石老山を訪れるハイキング客の案内板等の見やすさや、分かりにくい道順についてのヒアリング調査。 上記ヒアリング結果にもとづいて、石老山入口バス停から相模湖病院駐車場(ハイキングコース入り口)までの案内板設置状況等の現地調査。(フィールドワーク)</p> <p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>石老山入り口に設置されている案内看板(石老山ハイキングコースのシンボルタワー的存在)の修繕。 ハイキングコース入り口までの道標整備。</p> <p>9月末現在での事業達成度・・・(50)%程度 成果をはかる指標(委員会開催回数等、参加人数)) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 委員会2回(参加者延べ12名) 現地調査1回(5名参加)</p>					
事業予算額	3,577 千円					
うち市負担金額	3,227 千円 (市負担割合 90 %)					

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	29年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	市民講座による生涯学習の推進事業					
団体の名称	市民講座 まなびのライブ塾					
事業担当課	生涯学習センター					
事業の概要	新たな生涯学習の仕組みづくりの構築に向け、市民による市民のための市民講座の長期講座を行うとともに、長期講座修了者のサークル化を推進し、生涯にわたって学び続けることができる体制を整える。					
事業の目的	最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。 市民による市民のための市民講座を通じた新たな生涯学習の仕組みづくりを構築していくため、市民講座の多様化と開設地域の拡大、講座のサークル化の推進、生涯学習イベントの開催、大学及び地域社会との連携を図り市民講師を派遣するシステムを構築する。					
令和元年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何ですか。 市民講座の開催 ・講座開催地域の拡大 ・長期講座「まなびのガーデン」実施 講座のサークル化「まなびのサロン」実施 講師派遣(講座リスト活用) 大学、地域との連携					
令和元年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。 市民講座の開催 ・講座開催地域の拡大 ・長期講座「まなびのガーデン」実施 講座のサークル化「まなびのサロン」実施 講師派遣(講座リスト活用) 大学、地域との連携					
	残り半年間で実施する予定のことは何ですか。 ・講座開催地域の拡大...3区での開催 ・長期講座「まなびのガーデン」実施...6講座実施中 ...長期講座からサークル化移行を検討中 ...講座リストを公民館に配布(H31年1月)、公民館等5講座に講師派遣。 ...冬講座に博物館を絡めた講座を企画。その他、大学等との連携事業を企画中。					
	9月末現在での事業達成度・・・(60)%程度					
	成果をはかる指標(当初目標の実施状況) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 今年度実施内容の達成状況【3項目達成率/項目数×100% 180 / 300(60%)】 80%...夏(長期講座含む)・秋講座で実施済み(ただし予定講座数を若干下回っている)。 定量的ではない事項のため、評価対象から外す 50%...実績が少ないため、今後、講師派遣ができることについて広報活動を行う。 50%...講座開催は決定しており、これから募集する段階のため。					
事業予算額	2,008 千円					
うち市負担金額	1,408 千円 (市負担割合 70%)					

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	30年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	若年層に向けた金融教育支援事業(高校生にも分かる契約、金融と奨学金の話)					
団体の名称	神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合					
事業担当課	消費生活総合センター こども・若者支援課					
事業の概要	成年となることで契約に係る権利と責任が大きく変化することを踏まえ、高校生やその保護者に対して、金融教育や法的に大人になることについての講義、高校生が経済的理由で進学をあきらめないための奨学金等支援制度の適正な活用方法の説明や個別相談を行うことで、消費者被害の未然防止や将来の健全な市民の育成をしていく事業					
事業の目的	最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。 高校生が正しい金融知識・ライフプランの知識を学ぶことで、健全な社会人・相模原市民となるよう育成する。					
令和元年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何ですか。 講義 「18歳でできる事、できない事」 講義 「高校生にもわかる経済・金融の話」 講義・相談 「あきらめないで！ 夢の実現」 講義 「高校性・若年層のためのライフプラン」 ワークショップ 「自分のライフプランをつくる」 学校の希望に合わせて、上記 ~ のテーマに沿った講義を行う(目標 10回)。					
令和元年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。 4月、7月・・・高校生向け講座の実施(県立青陵高等学校) 8回 講座内容 奨学金の話 高校生のためのライフプラン 自分のライフプランをつくる 報道機関への情報提供(タウンニュース社より取材依頼) 7月・・・こども・若者支援協議会実務者会議における取り組み報告 8月・・・こども・若者支援協議会代表者会議における取り組み報告 残り半年間で実施する予定のことは何ですか。 10月、11月・・・高校生向け講座の実施(県立城山高等学校) 9回 講座内容 高校生にもわかるクレジットカードの話(全体授業) 自分のライフプランをつくる(クラス別授業) 1月・・・県立学校長会議において、活用を呼びかけ 2月・・・新しい実施校と調整開始 9月末現在での事業達成度・・・(80)%程度 成果をはかる指標(講座開催回数) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 講座開催回数：8回 ○参加生徒数：230名(8クラス)					
事業予算額	411 千円					
うち市負担金額	242 千円 (市負担割合 59 %)					

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	30年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	食でつながる子育て相談事業					
団体の名称	NPO法人 フーズマイルぐりぐら					
事業担当課	こども家庭課 各子育て支援センター					
事業の概要	子育てに悩みをもつ保護者が一人で悩まないための居場所づくりをする。相模原の生産物などに触れる機会を含めた、独自の食の教育プログラムの作成と、居場所でのデータを集計・分析し全国の子育て支援に繋げる事業					
事業の目的	最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。 子育てに悩みをもつ保護者が、孤立することのないよう、食を通して相談及び支援を行う。イベントを通して相模原市の特徴や特産などを知ること、相模原市を愛することも増やし、育児にやさしいまちにする。					
令和元年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何か。 1. 食をテーマにしたイベント 料理を作ったり、野菜を収穫したり、加工の工程を見学したりと、子どもの能力を育む食の体験ができる場を市内3区で各5回ずつ実施 2. 食に関する子育ての相談 各イベントでの保護者との交流の場での悩み相談 3. 情報交換 イベントにおいての参加者の悩みや要望に関する情報の共有・交換					
令和元年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。 1...7月～(計3回実施) 4～7月: イベントの企画・打ち合わせ、場所の確保・調整、専門家やスタッフの日程調整 2...イベント時における保護者との悩み相談の実施 各イベントにて随時					
	残り半年間で実施する予定のことは何ですか。 1...10月～(計12回実施) 10月・11月は3回ずつ、12月・1月・2月は2回ずつの実施予定 2...イベント時における保護者との悩み相談の実施 各イベントにて随時 3...2月・3月にデータ・情報の検証					
	9月末現在での事業達成度・・・(50)%程度					
	成果をはかる指標(イベント開催数、総参加者数、満足度アンケート) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 イベント開催数: 3回 総参加者数: 17人					
事業予算額	3,595 千円					
うち市負担金額	1,215 千円 (市負担割合 34%)					

	部会委員:
--	-------

公開中間ヒアリング 評価シート (審査会委員用)

自己評価及び意識差 (a = 4、b = 3、c = 2、d = 1)

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民																			0
行政																			0
差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

審査会採点および意見	
事業の有効性	事業は地域や市民のニーズを的確に捉え、市民が抱える公共的課題に込えているか。
	コメント / 5
協働の必要性	単独よりも協働して取り組むことで、より高い効果・成果を得られているか。
	コメント / 5
役割分担の妥当性	協働の関係性や役割分担は適切か。
	コメント / 5
経費の妥当性	事業の必要性、協働の必要性等を勘案し、事業経費や負担割合は適切なものであるか。
	コメント / 5
継続の妥当性	課題解決のために協働事業提案制度において継続することが妥当か。
	コメント / 5
合計	/ 25

普通 = 3点を
基準として採

評価	特に優れている	優れている	普通	あまり良くない	良くない
点数	5	4	3	2	1

協働事業提案制度事業審査作業部会 委員名簿

(令和元年10月現在、五十音順)

番号	氏 名	構成員名	現 職 名
1	いしかわ すずこ 石川 壽々子	相模原市 市民協働推進 審議会委員	相模原市社会福祉協議会 理事
2	いよだ たつじ 伊豫田 竜二	アドバイザー	伊豫田中小企業診断士事務所 中小企業診断士
3	きりと はつみ 桐戸 初生	相模原市 市民協働推進 審議会委員	相模原市公民館連絡協議会 副会長
4	こにし ちかひと 小西 睦人	アドバイザー	西部信用金庫橋本支店 支店長
5	めが ふみこ 妻鹿 ふみ子	相模原市 市民協働推進 審議会委員	東海大学 健康学部 教授